

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2002-253643(P2002-253643A)

【公開日】平成14年9月10日(2002.9.10)

【出願番号】特願2001-352404(P2001-352404)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 L 2/10

A 6 1 L 2/08

A 6 1 L 2/20

A 6 1 L 2/22

B 6 5 B 55/08

B 6 5 B 55/10

【F I】

A 6 1 L 2/10

A 6 1 L 2/08

J

A 6 1 L 2/20

Z

A 6 1 L 2/22

B 6 5 B 55/08

A

B 6 5 B 55/08

B

B 6 5 B 55/10

A

B 6 5 B 55/10

C

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月15日(2004.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

各装置2は、水で冷却されるエキシマーユニットランプを包含する。このランプは、ロッド6の形の細長い支持部材を包含する。ロッド6の内方端はスパイダのハブに固定され、またロッド6の外方端は選択的にこの部分に固定されるマンドレルキップ8を有することができる。環状室12の内側シリカガラス壁10が、ロッド6から間隔を置いてロッド6を同軸に囲んでいる。環状室12は、エキシマーガスで充填されていると共に、その外側が外側シリカガラス壁14により限定されている。ランプ用の冷却水(又は冷却空気)は、ロッド6の内方端からロッド6の外方端へその軸方向孔16を通して流れる。そして、冷却水はロッド6と内側壁10との間の環状空間18を通して戻る。また、孔20及び22がそれぞれロッド6を通してその内方端から外方端にまで互いにかつ孔16に対して平行に延びている。孔20は過酸化水素溶液の導入用であり、また孔22は過酸化水素溶液を噴霧するための圧縮空気の導入用である。マンドレルキップ8は、孔16を空間18に接続する導管と、孔20及び22をノズル24に接続する導管とを包含する。ノズル24は、装置2の外方末端にあり、ロッド6と同軸である。このノズル24は、ロッド6の軸線Aに対して実質的に垂直な過酸化水素溶液の噴霧体Sを上記軸線Aまわりの360°にわたって放出する。